

【Interview】



岩橋 菜乃 選手

スタート位置が2列目だったので、焦らずに行こうと思っていました。先頭から離されましたが、自分でペースを作っていたのが良かったです。ただ、もう少し前の位置でタスキを渡したかったです。来年は高校生最後の年になるので、1区で総合区間賞を取れるように頑張ります。



鈴木 心彩 選手

最初は、オーバーペースにならないように抑えて走りました。後半、上り坂が急になってくるので、そこを意識してしっかり走れました。ラストで力を出し切れたので良かったです。レースプラン通りに走れました。来年はさらに成長して、町の部優勝に貢献できるように頑張ります。



白井 凰香 選手

繰り上げスタートになったので、16区の選手にタスキをつなげられるか不安でしたが、なんとかタスキをつなぐことができました。周りの人たちの応援もあって、集中してレースに臨めたし、楽しく走れました。区間賞を自信につなげて、さらにレベルアップしていきたいです。



5

1 古川咲音選手(聖光学院高1年) 2 影山祐一選手(福島県警) 3 渡部湧人選手(帝京安積高1年) 4 古川未咲選手(猪苗代中3年) 5 選手と関係者全員で記念撮影 6 鈴木心彩選手(会津ザベリオ高2年) 7 大橋清陽選手(創価大3年) 8 星柊斗選手(学法石川高1年) 9 横澤秀哉選手(学法石川高3年)

藤瑛史選手(猪苗代中2年)の好走で町の部3位に浮上。そこから順位をキープしたものの、第14中継所で残念ながらタスキを渡せず、繰り上げスタート。15区の白井選手がその白タスキをつなぐ偉業を見せ、アンカーの大橋清陽選手(創価大3年)が3位をキープしたままゴールしました。今回の結果を真摯に受け止め、また来年素晴らしいチームを作り上げたいと思います。応援ありがとうございます。来年は町の部での優勝を誓いました。



選手たちが奮闘 町の部3位入賞

第37回ふくしま駅伝

第37回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)は11月16日、白河市のしらかわカナルスポーツパーク陸上競技場をスタートし、福島市の県庁前にフィニッシュする16区間、96.3kmのコースで行われ、連合チームを含む57市町村51チームが参加しました。

猪苗代町チームは、1区岩橋菜乃選手(学法石川高2年)、11区鈴木心彩選手(会津ザベリオ高2年)、15区白井凰香選手(猪苗代中2年)の3人が町の部で区間賞を獲得。チーム順位は、総合12位、町の部では昨年より1つ順位を上げて3位でゴールしました。

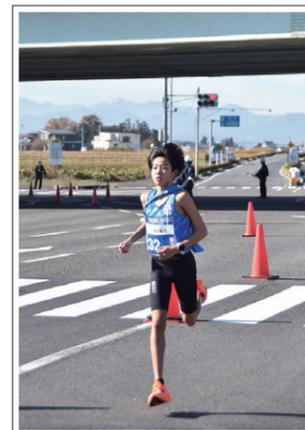
五十嵐史朗監督は、「1区の岩橋選手が全体の2位、町の部1位でタスキを渡し、その後順位を落としましたが、7区の佐藤選手が奮闘し、町の部3位入賞に貢献しました。選手たちの頑張りに感謝します。来年はさらに成長して、町の部優勝に貢献できるように頑張ります。」とコメントした。



Contents — 【目次】

- 02 選手たちが奮闘 町の部3位入賞 第37回ふくしま駅伝
- 04 特集 安心して暮らせる冬の交通確保のために 道路の除雪にご協力ください
- 08 まちのわだい
- 10 第2回いなわしろみらい会議2025 / 「笑顔つむぐりレー」
- 11 猪苗代町自治功労者表彰式
- 12 いなわしろタウンページ
- 16 暮らしの情報広場
- 18 みんなの美術館 / 食生活改善推進員コーナー

【今月の表紙】



ふくしま駅伝で猪苗代町チームの7区を走った佐藤瑛史選手(猪苗代中2年)。佐藤選手は、2年生ながら区間総合12位、町の部3位の快走を見せ、チームに大きく貢献しました。

【撮影日】 11月16日
【撮影場所】 郡山市



マチを好きになるアプリ



ios用



Android用